

地域社会における外国人住民への情報提供のあり方に関する研究 - 新宿生活スタートブックを事例として -

正会員 ○ 井澤 和貴*
正会員 上山 肇 **

新宿生活スタートブック 情報提供 外国人
多文化共生 コミュニティ 新宿区

1 はじめに

2018年の日本における外国人数は、約263万人に上る。外国人の日本への移住は、第二次世界大戦以前の労働者確保による移住に始まり、1990年以降では出入国管理及び難民認定法の改定により、日本への移住者が増加した。

近年では、外国人住民と地域住民がお互いの文化を理解し、共に生活する「多文化共生」が求められている。多文化共生について、総務省(2006)は「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと」としている。

多文化共生実現の一環として、最近では新規転入の外国人住民に対し、日本の生活になじむための取り組みも行われている。新宿区では「新宿生活スタートブック」を発行し、外国人に対して様々な情報提供を行っている。

今後の地域社会では新しく住む外国人住民に対し、より分かりやすい情報提供が求められる。そこで、本研究では新宿区の「新宿生活スタートブック」を事例として、今後の外国人住民に対する情報提供のあり方について明らかにする事を目的としている。

本稿は、法政大学大学院政策創造研究科にて開催されたワークショップ(2018.10.8)において検討した結果をまとめたものである。このワークショップでは外国人(留学生)5名を含む18名が参加し、「あなたがもし、新たに新宿区に住む外国人に対してガイドブックを作るとしたら、どのような内容を記載するべきか」というテーマに対し、3グループに分かれてディスカッションを行った。

グループワークでは、新宿区が行った調査「日本の生活で困っている事や不安な事(N=1,275 複数回答)」を参考にして、「外国人住民が困る事」を話し合い、今後外国人住民がより暮らしやすくする方法について議論した。

2 研究対象地域の概要

2.1 新宿区における外国人をめぐる現状

2018年における新宿区の外国人数は42,923人である。区内の外国人の出身国は、中国出身者が1番多く、韓国・朝鮮、ベトナム、ネパール、ミャンマーと続く。

外国人住民が生活する上で困っている事は、新宿区(2015)が行った調査「平成27年新宿区多文化共生実態調査」によると、「ことば」(25.1%)が最も多く、次いで

「生活費など金銭的な問題」(18.1%)、「友人が少ない」(17.2%)、「日本人からの偏見・差別」(13.3%)、「日本人が閉鎖的である」(12.3%)などが挙げられた。

2.2 新宿生活スタートブックについて

新宿区では、来日して間もない外国人住民に情報提供をするため、2009年より「新宿生活スタートブック」を発行している。2012年には改訂版が発行され、2016年には一部改訂版が発行された。現在では、新宿区のウェブサイトでも閲覧することができる。また、2016年版ではルビ付きの日本語のほか、英語、中国語、韓国語に加え、ネパール語、ベトナム語、ミャンマー語の併記もされている。

このガイドブックでは同時に、外国人向けの相談窓口、日本語教室、区役所での手続き、防災、医療、預金口座の開設方法、日本文化の特徴などが紹介されている。

3 グループワークの結果

3.1 ディスカッション内容について

[グループ①]

このグループは、外国人住民と地域住民の交流の活性化を求める意見が挙げられた。その上で、今後求められる情報について、「まち案内」「交流」「コミュニティ」「ライフライン」の4つに分け、議論が行われた。このグループでは、日本での生活やコミュニティについて言及があり、「どの地域に外国人が多く住むか」といった、同じ出身国のコミュニティに関する情報提供について求める声があった。

[グループ②]

このグループでは、留学生を中心にして、日本での生活で困ったことが挙げられた。今後求められる項目について、「日本での生活」「コミュニケーション」「防災」の3つに分けて議論が行われた。ディスカッションでは、留学生より日本での生活で困ったことで、「金銭の支払い方法」が挙げられた。また、ガイドブックに頼る情報提供にも指摘があった。現在では、地域の情報はインターネットから得ているという人も多く、紙媒体等との合わせた情報提供について言及があった。

[グループ③]

このグループでは、外国人住民の困る事について挙げられ、ゴミ出しや防災など生活に関する項目を中心に意見が集まった。その意見を踏まえて、「生活・安全」「地

図・案内」「子育て支援」「役所の相談」「ガイドブック」「民間の相談」「生活ルールとマナー」の7項目について議論がされた。中でも、特に取り上げられたテーマは次の2つである。①日本の鉄道網は複雑であり、交通面での案内が必要である。②現在、ガイドブックは2016年以降改訂されていないが、今後は年1回改訂して発行する。

3.2 今後求められる情報について

今回、新宿生活スタートブックには無いものの、今後掲載が求められる項目として、次にまとめる。

(1) 電子決済に関する情報

今回は「日本での決済方法について紹介するべきではないか」が挙げられた。日本では、経済産業省(2017)の調査によるとキャッシュレス決済比率が18%と、中国やアメリカと比較しても低い。そのため、決済の方法について日本では、現金取引が主流であることについて、情報提供が求められるだろう。

(2) 鉄道の乗車方法について

今回の議論では、鉄道の乗車について、情報提供すべきではないかという意見も挙げられた。東京都では、諸外国と比べても鉄道会社が多く存在しており、私鉄同士が相互に直通を行う運行パターンも数多く存在する。それゆえ、路線網は複雑化し、結果として外国人には理解しづらいケースが考えられる。

(3) 外国人住民の出身国についての情報

今回は、外国人住民の出身国に関する情報の拡充を求める意見があった。来日して日が浅い外国人住民においては、出身国の食など、母国の情報を得る手段は少なく、生活に必要な項目として今後求められるとの意見が多く挙げられた。

3.3 今後の情報提供のあり方について

今回のディスカッションにおいても、役所での相談窓口の案内、医療、防災、コミュニケーションの場、日本での生活情報を求める意見が挙げられた。また、情報発信の手段においても、ガイドブックに加え、インターネットの活用に関する指摘があった。

その上で、今後求められる情報提供として、電子決済の方法や、鉄道の乗車方法等が挙げられた。これらは、諸外国と異なる項目であるとも言える。電子決済のケースでは、日本は電子決済の普及率が諸外国と比べて低く、また、日本の鉄道網も他の都市と比べ複雑である。そのため、日本の特異な点に関する情報提供が考えられる。

その他、外国人住民の母国に関する食生活や宗教施設等の情報を求める指摘があった。しかし、この点においてはすでに居住している外国人住民の情報を得ているケースがある。そのため、今後の情報提供のあり方としては、外国人コミュニティとも連携し、新規に転入した外国人住民に日本での生活情報を提供する仕組みも考えら

れる。ガイドブックや、ホームページの情報のみならず、外国人コミュニティとの連携・協働を含めた情報提供のあり方も、今後求められる。

施設紹介

役所の相談窓口

日本語教室

生活

医療

防災

交通

支払手段

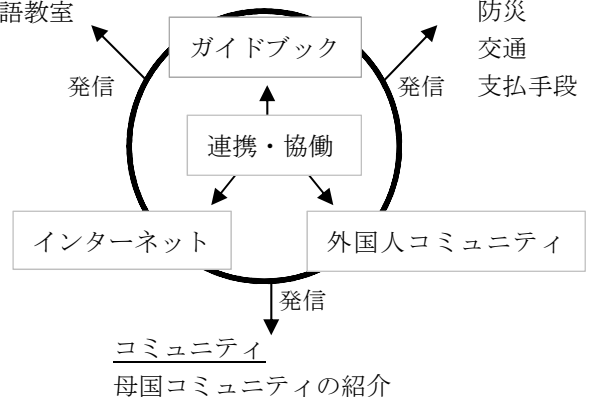


図1 今後の外国人住民に対する情報発信のイメージ

4 まとめ

グローバル化とともに地域社会における外国人住民は増加をし、結果として多文化共生の実現が求められてきた。その上で、新宿区の「新宿生活スタートブック」に代表されるように、外国人住民の日本での生活に対して、様々な情報提供や支援が行われてきている。

本研究では、「新宿生活スタートブック」を事例として、ワークショップを通し、今後の外国人住民に対する情報提供のあり方について議論を行ったが、その結果、今後求められる情報として、電子決済の方法や鉄道の乗車方法など、日本が諸外国と比べ特異な点と言える項目が挙げられた。

その他にも、外国人の母国の情報を求める意見もあったが、このようなニーズを満たすためにも、今後の情報提供のあり方として、外国人コミュニティとの連携や協働といったことも考えていかなければならない。

【参考・引用文献】

- 1) 総務省『多文化共生の推進に関する研究会報告書』(2006)
- 2) 新宿区『平成27年度 新宿区多文化共生実態調査(2015)』
- 3) 新宿区『新宿生活スタートブック』(2016)
- 4) 経済産業省『キャッシュレスの現状と今後の取組』(2017)
- 5) 東京都『区市町村別主要10か国外国人登録人口』(2018)
- 6) 法務省『在留外国人統計』(2018)

*法政大学大学院 政策創造研究科 修士(政策学)

**法政大学大学院 政策創造研究科 教授

博士(工学),博士(政策学)

* Graduate Student, Hosei Graduate school of Regional Policy Design
Master of Policy, Planning, and Development

**Hosei Graduate school of Regional Policy Design, Prof., Dr. Eng., Ph.D.